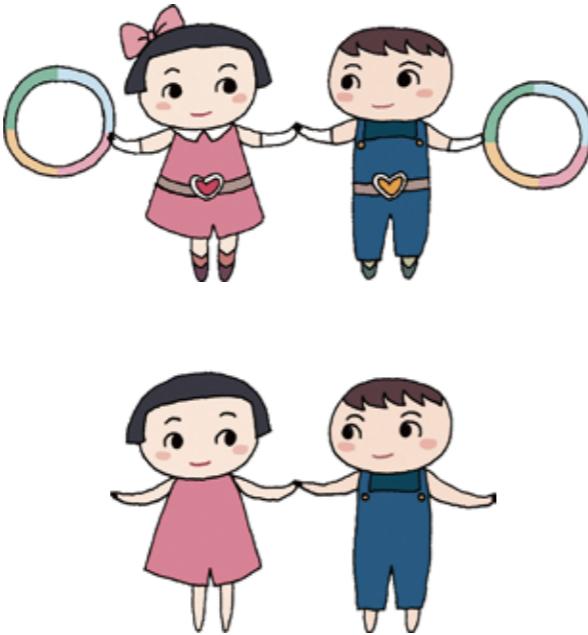


ふくちやましじさつたいさくけいかく 福知山市自殺対策計画

～「いのち支える」まちづくりを目指して～

福知山市では国の自殺対策基本法に基づき、平成31年3月に福知山市初の自殺対策計画である「福知山市自殺対策計画」を策定しました。この計画では「いのち支える」まちづくりをスローガンとし、福知山市において「自殺者0」を目指して、各種施策に取り組むことをうたっています。



自殺予防週間と自殺対策強化月間

日本では自殺対策基本法に基づき、毎年9月10日から16日を「自殺予防週間」、毎年3月を「自殺対策強化月間」と定めて、国、地方公共団体、関係団体等が連携して「いのち支える自殺対策」という理念を前面に打ち出し、啓発活動を推進しています。



みどりかがや
緑に輝く
ふくちやまじょう
福知山城グリーンライトアップ

福知山市では、令和3年3月に近畿地方の再建天守では初の取組みとして自殺対策強化月間の期間中、福知山城のグリーンライトアップを実施しました。これは自殺対策強化月間の趣旨に賛同し自殺対策のシンボルマーク「いのち支える」の4色カラーのうち、癒しや安らぎの効果があるとされるグリーンで福知山城をライトアップすることで、自殺対策の取組みのPRを行いました。



ゲートキーパーとは？

「ゲートキーパー」とは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話をきいて、必要な支援につなげ、見守る)を図ることができる人で、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のことです。自殺対策の分野でも広く使用されている用語で、WHO(世界保健機関)をはじめ、多くの国々で使用され、その養成プログラムが実施されています。

自殺対策では、悩んでいる人に寄り添い、関わりを通じて「孤立・孤独」を防ぎ、支援することが重要です。一人でも多くの方に、ゲートキーパーとしての意識を持っていただき、専門性の有無にかかわらず、それぞれの立場でできることから進んで行動を起こしていくことが、自殺対策につながります。